



知的資産経営報告書2009

株式会社力ワサキ

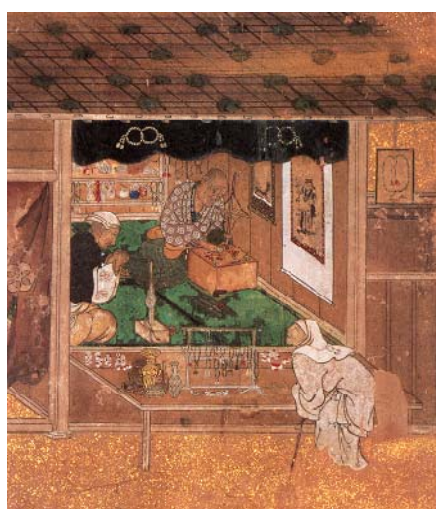
独創



目 次



1. 社長から皆様へ	・・・・・・・・・・・・・・・・	P	3
2. 企業理念	・・・・・・・・・・・・・・・・	P	4
3. 企業概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P	7
4. 事業概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P	8
5. これまでの事業展開	～過去から現在～	・・・	P 12
6. 当社の知的資産	・・・・・・・・・・・・・・・・	P	15
7. これからの事業展開	～現在から将来～	・・・	P 21
8. 問い合わせ先	・・・・・・・・・・・・・・・・	P	24



社長から皆様へ

『技と心を一珠に込めて』

近江八幡の地では、古代より今日に至るまで、木珠（※）を作り続けて参りました。長い歴史の中、幾つもの新しい産業が生まれ、又逆に時代に取り残されたものは消えていきました。そうした中で、私達の先人達は、変わることのない“不易”なるものを大切にし、又それぞれの時代のニーズを先取りしながら、今日まで木珠づくりを継承して参りました。まさに「不易流行」を実践して来たのです。

今、世はまさに、百年に一度の“構造変換（パラダイムの変換）”の真最中にあります。だからこそ今、カワサキは先人達がそうであったように、木珠の一珠一珠に込める技、心をもってこの時代のニーズを先取りした、人々の求める“ものづくり”に邁進するのです。

昨年来「地域資源活用法」の認定を受けた独自ブランドのウッドビーズ事業に取り組んでいますが、まさに株式会社カワサキが“カラ”を破って飛び出そうという時期にうってつけの事案です。

全社員参画の元、自らが（PDCA）運営主体となり、新しい事業が展開されるに、部署外のスタッフにも全体像が理解できる形をつくっていきたい。動き出せば専属スタッフが運営主体となり、少なくとも全社員が会社の全ての事業に対して共感できる形になります。

そのような中で、株式会社カワサキの存在意義やこだわりなどの内容が明確にできる知的資産経営報告書に取り組むことは必然だったと感じています。

木の本来の良さを伝えることにこだわり、古き伝統を守り続けるカワサキの心を感じて頂ければ幸いです。

※木珠

近江八幡で作り続けている木製の数珠玉



代表取締役 川崎 孝雄

企業理念

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

私たち、株式会社カワサキは、「**誠実**」をモットーに
「**快適で人間性あふれる社会の創造**」に貢献します。

1.社会への貢献

われわれは、人間の幸せと社会の発展に仕事を通して貢献します。そして、この事が、自分達の誇りとなり、働きがいのある「魅力的な企業」と実感できるよう努めます。

2.人間成長の場としての企業

われわれは、それぞれの個性、価値観を認め、尊重しあいます。その上で、お互いが共有できるより高度な価値観を見だし、人間として向上しあえる職場環境づくりに努めます。

3.民主的な企業

われわれは、「義務と責任」を自覚した自立した人間の集団として、常に民主的な企業の運営に努めます。

4.挑戦する企業

われわれは、「変革の能動者」として現状に甘んずる事なく、常に創造的向上を目指すよう努めます。

経営方針

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

経営方針

- 1) 企業・従業員それぞれが責任を持ち自立すること
- 2) 他社の追従を許さない技術の粋を集めた木珠メーカーの確立を図り、数珠づくりにつなげること



地方の名もなき1メーカーから、自社製品を自社ブランドで、責任を持って世に出していくブランディングができる企業を目指す。

それを実現するために、木の香りや優しさなどが伝わる高級感溢れる木珠や地域資源活用プログラムの認定を受けたウッドビーズアクセサリなどの独自性のある事業展開を行っていく。

行動規範

勝者とは・敗者とは

- ① 勝者は、常に問題解決に寄与する。
敗者は、常に問題を引き起こす。
- ② 勝者は、常に企業計画を持ち語る。
敗者は、常に言い訳を考える「だって、でも、しかし症候群」。
- ③ 勝者は、常に引き受けたという。
敗者は、常に関係ないという。
- ④ 勝者は、常に解決策を考える。
敗者は、常に問題点を指摘する。
- ⑤ 勝者は、常にむずかしいが可能だという。
敗者は、常にむずかし過ぎてできないという。

当社の想い

数珠づくりは、先人達の熱き思いと努力のもと、1400年もの長い間、ここ滋賀県近江八幡市の地で、今まで受け継がれてきました。当社も昭和3年の創業以来培ってきた伝統と技術で、各宗派の数珠を、心を込めてつくり続けてきました。



人々が暮らすところには、必ず宗教が存在すると言われています。その宗教は、人々がお互いの生活を営む上で必要なマナーや道徳の基を成してきたのです。かつて数珠は、人々が祈る時に、その思いを伝え願い叶える為の道具でした。しかし、今日では、故人を思い手を合わせる時の他には一般的にあまり使われることがなくなってしまいました。

当社では、どんな方にも気軽にいつでも身に着られる様な現代版の数珠として木珠アクセサリー（ウッドビーズアクセサリー）の製作に着手しました。私達人間は、精神的にも肉体的にも決して強い生き物ではありません。神仏も古来より災いから身を守る為、数々の装飾品を身に着けていたといえます。



この先の見えない現代社会、誰しも生きていく上で、心が疲れ、何かに守られたいという気持ちを持つ時があります。そんな時に少しでも心が癒され楽になったり、気持ちを高めたりするようなものをとの思いから、創業以来木珠を作り続けてきた当社が、新たな形の数珠として、木珠アクセサリー（ウッドビーズアクセサリー）を製作しました。

先人達がそうであったように、ひとつひとつの工程を大切に、丁寧に仕上げることにより、木珠に魂を吹き込み、銘木の持つ輝きを最大限に引き出します。素晴らしい素材に、職人の情熱がそそぎ込まれ、着けていただく方々の思いをも刻みこんではじめて完成するアクセサリーは、皆様の永きパートナーとなってくれるでしょう。

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

6

企業概要

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

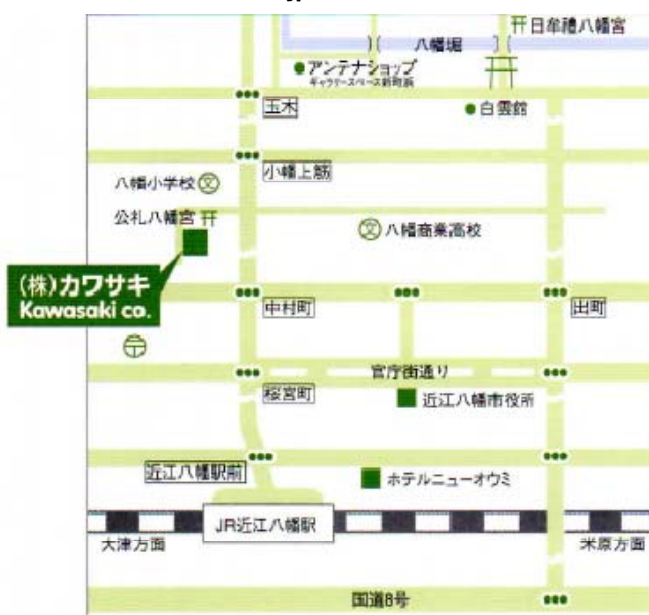
過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

会社名	株式会社カワサキ
代表者	川崎 孝雄
創業	昭和3年7月
業種	木珠（数珠及び装飾品）の製造販売
資本金	1,000万円
従業員	18名（パート含む）
住所	〒523-0894滋賀県近江八幡市中村町690
電話	0748-33-5101
FAX	0748-33-5103
URL	http://www.kawasaki-beads.com
Eメール	kawa108@silver.ocn.ne.jp



事業概要

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

事業内容

1. 高級木珠の製造販売
2. 銘木ウッドビーズアクセサリーの製造販売

当社の仕事は木珠をつくることです。宗教的価値・付加価値の高い数珠玉の製造販売を長年行っています。その中で培ってきた木珠の製造技術を活用したウッドビーズ商品も取り扱っています。原材料は世界中の森から集めた希少で高価なレアウッドです。用途は数珠用、アクセサリーなど様々です。カワサキオリジナルデザインのネックレス、ブレスレット、指輪などを製造販売しています。

近江八幡における数珠の歴史

近江八幡を代表する伝統工芸の一つに木珠があります。その歴史は古く、今から約1400年前にもさかのぼります。

619年、聖徳太子により仏教を国教にすることが定められ、近江の国に48ヶ寺建立の誓願が立てられました。この地に願成就寺が建てられたと同時期に、聖徳太子によって周辺の村人達に珠数づくりの技法が伝授されたのです。ここに日本で最初の珠数製造の礎が築かれ、今日に至っています。

江戸時代になり一般庶民にまで仏教が浸透すると、さらに珠数の製造は盛んになり、全国の木珠製造トップシェアを誇りました。しかし、近江八幡では半製品のまま京都へ出荷し、そこで糸・房つけ、仕上げ、販売をしたため、産地名としてあまりその名を知られていない状態でした。

現在においても近江八幡では、木珠生産は盛んで、全国シェアの約70%を製造しています。

事業概要

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

取り扱い商品

1. 高級木珠
2. 仏包珠（ぶっぽうじゅ）
3. 銘木ウッドビーズ
4. アクセサリー
5. 光の彫刻
6. 委託加工（持込材・異素材）
7. その他



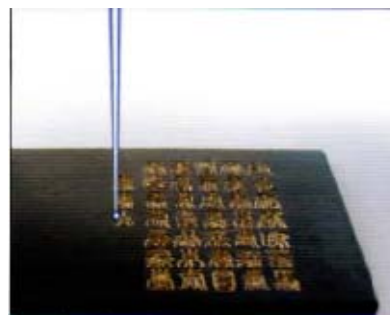
仏包珠（ぶっぽうじゅ） 特許出願中

当社には、珠数玉の中ほどに特殊レンズ加工により、仏様や紋などを抱いたように見える「仏包珠」という独自技術があります。用途は広く、ブレスレットやペンダントトップにも用いられ、中に抱かれる画像は、星座や花、仏像、仏画、紋など、お客様のニーズに合わせて多種多様です。写真、CD-ROMなどをお預かりすれば、短期間で加工できます。



光の彫刻レーザークラフト PAT3549103

当社には、レーザービームによる光の彫刻「レーザークラフト」という独自技術があります。珠数やブレスレットなどの3次曲面を有する品物にも、この鋭利な光の刃は手彫では不可能な非常に緻密加工を施すことが可能です。また、幅0.1mmの緻密な細彫が可能ですので用途は様々です。



レーザービームによる彫刻（イメージ）

事業概要

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

取り扱い商品

木のアクセサリー

木の宝石として扱われるチューリップ・ウッド、ピンクアイボリーや木の翡翠とも呼ばれるリグナムバイタなどの稀有なる高級な樹木を用いてつくりました。“ネックレス” “ブレスレット” “指輪” どれもこれもウッドビーズのパイオニアメーカーだからこそ成し得た当社のアート・テクノロジーです。

アースグラデーションシリーズ

緩やかなカーブを描くような美しい曲線美と、ビーズ中央のラインが作り出す光の陰影が、天然木の美しさを強調してくれます。またこの形状は、身に着けた時の質感の良さや肌触りの良さも特長になります。着色は一切しておらず、素材本来の持つ天然色のみで色彩豊かに表現しています。ボリュームのわりに着け心地が軽いのもアースグラデーションシリーズの魅力です。まるでブレスレットを着けているのを忘れてしまうかのような着け心地と天然木の質感をお楽しみ下さい。

「彩」シリーズ

相性の良い2種類のウッドビーズに輝石のルチルクォーツを組み合わせたブレスレットです。天然木本来の色彩と輝石のコラボレーションをお楽しみ下さい。

アクアリウムシリーズ

アクアリウムは、木のビーズと透きとおった本水晶を組み合わせた上品で上質なブレスレットです。まさに木のビーズが水中に浮かんでいるかのように見えるデザインが木の持つ本来の美しさをより引き立たせています。



【アースグラデーションシリーズ】



【「彩」シリーズ】



【アクアリウムシリーズ】

事業概要

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

取り扱い商品

委託加工（持込材・異素材）

長年の愛着や思い出いっぱいの柱や床の間の柱、数百年の歴史と人々の思い出のある寺院の柱などをお預かりいたしまして、お珠数(寿珠)や腕輪、ネックレスにつくり替えることができます。

また表札や置物にしてレーザークラフト加工を施すことにより、いつまでも大切な思い出として残すことが可能です。

商品に好きな文字や言葉を彫刻して
世界中でたった一つのアクセサリが完成

商品

+

彫刻

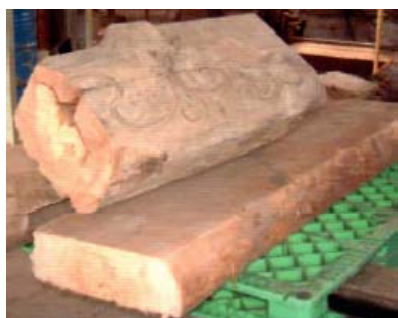
プラス

- ・梵字
- ・お名前
- ・イニシャル
- ・好きな言葉／文字

記念品に
ご夫婦で
仲間同士で

持込材加工

当社では使われなくなった木材をお数珠やブレスレット等に加工する独自技術があります。(寺社や一般建築物の柱、家具、建具、e t c) 思い出のこもった木材を新しい形にして命を吹き込みお客様の大切な思いを形にします。また、大切な庭木やその太い枝などの樹木も加工する事ができます。



異素材加工

当社では木材に限らず様々な素材を加工する独自技術があります。カーボン素材や、樹脂を注入した強化木などお客様のニーズに合わせて加工しています。



過去から現在 ～企業沿革～

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

株式会社カワサキは昭和3年7月創業で82年の社歴です。

年表	出来事
昭和3年7月	創業者・川崎徳次により「川崎木珠工場」を開業
昭和8年	輸出向け木珠製品を発売 輸出産業を併行
昭和19年	名称を「川崎精工所」と改め、軍需産業に転向
昭和20年	終戦と同時に木珠産業に戻り、「川崎木珠製作所」と改称
昭和28年	初代社長・川崎徳次とし、有限会社に組織変更
昭和33年	インテリア部門に参入、「珠のれん」を開発し、百貨店に向け販売
昭和36年	本社に成型工場を増築
昭和40年	市内桜宮町に第2工場を建設
昭和44年	社名を「有限会社川崎工業」と改称
昭和44年	川崎孝一が2代目社長として就任
昭和51年	インテリア製造中止、数珠玉の生産に主力を注ぐ
昭和62年	本社に新社屋建設
平成6年3月	「有限会社川崎工業」の組織を変更し、「株式会社カワサキ」を設立
平成7年11月	川崎孝雄が3代目社長として就任
平成16年3月	中小企業経営革新計画の承認
平成17年1月	ホームページ販売を開始
平成21年10月	地域資源活用プログラムの事業認定



過去から現在～独自性のある付加価値の高い事業～

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

経営革新計画の概要

仏包珠（ぶっぽうじゅ）と彫刻を施した 新たな数珠の開発と販路拡大

数珠の玉のなかに写真や画像を配置しレンズカバーをする仏包珠を開発した。この仏包珠とレーザー彫刻機を利用し、ご本尊の画像や名称などを入れた数珠を製造することで、宗教的価値・付加価値の高い数珠の製造販売に取り組む事業計画です。



珠数
男性用
生命樹 阿弥陀如来

【仏包珠】

地域資源活用プログラムの認定事業の概要

高級希少木材と木珠生産の技術を活用した「オリジナルレアウッドアクセサリー」の開発・販売

80年に渡って木珠の生産・加工・卸を行ってきた当社が、独自の加工技術と価値ある高級木材に関する知識を活かして、高級希少木材（白檀、パープルハート、リグナムバイタ、アイアンウッドほか）を主原料としたオリジナルアクセサリーの開発を行う事業です。またカーボン及び金属、石、ボーン（角、骨）、貝などの異素材の組合せにより、性別を超えた幅広いターゲットにレアウッド（高級木材）の持つ奥深い魅力を追求し、事業を展開させていきます。



【マーブルシリーズ】



【洗いざらしシリーズ】



【香木白檀シリーズ】

参考：地域資源活用プログラム

地域資源活用プログラムの支援

<地域資源活用プログラムの内容>

中小企業地域資源活用促進法※に基づき、中小企業者が、地域産業資源を活用した新商品・新サービスの開発、販路開拓に取り組む「地域産業資源活用事業計画」を作成し、認定を受けると、補助金、融資制度、課税の特例などの各種支援施策を利用することができる制度です。

※ 「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」が正式名称で、各地域が指定する強みである農林水産品、鉱工業品及びその生産技術、観光資源の3類型からなる地域資源を活用して新商品の開発などの事業を行う中小企業を支援するための法律

<地域資源活用プログラムのスキーム>

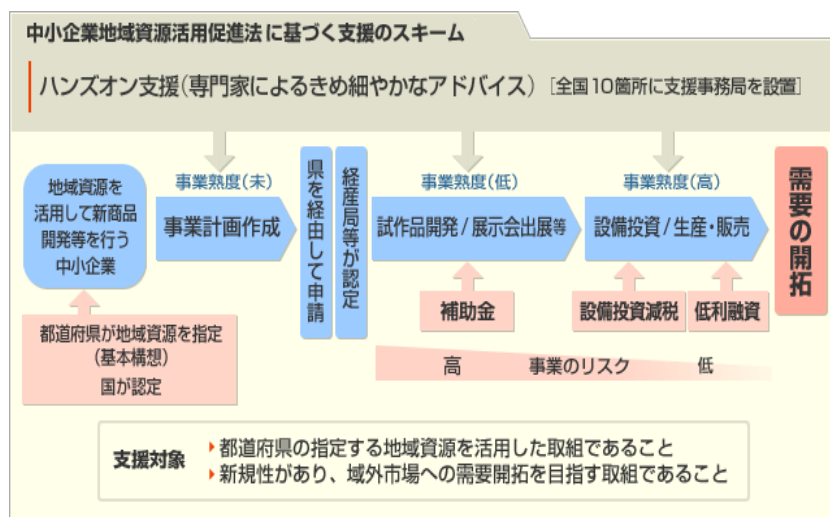
事業計画認定を目指す中小企業を、ハンズオン支援事務局が、事業の構想段階の相談から商品開発、販路開拓などのアドバイス、ノウハウ提供などにより事業化まで一貫したハンズオン支援を行い、事業を成功まで導くことを通じて、地域経済の活性化を支援するスキームになっています。

具体的には、①事業計画のブラッシュアップ支援②国の法認定③各種支援策、フォローアップ支援が実施され、需要開拓・事業化達成を実現する流れになっています。

事業認定による支援措置としては、専門家によるアドバイスや補助金、融資などが受けられます。

支援措置

- ▶ 専門家によるアドバイス
- ▶ 試作品開発等に対する補助金
- ▶ 設備投資減税
- ▶ 政府系金融機関による融資
- ▶ 信用保証枠の拡大等

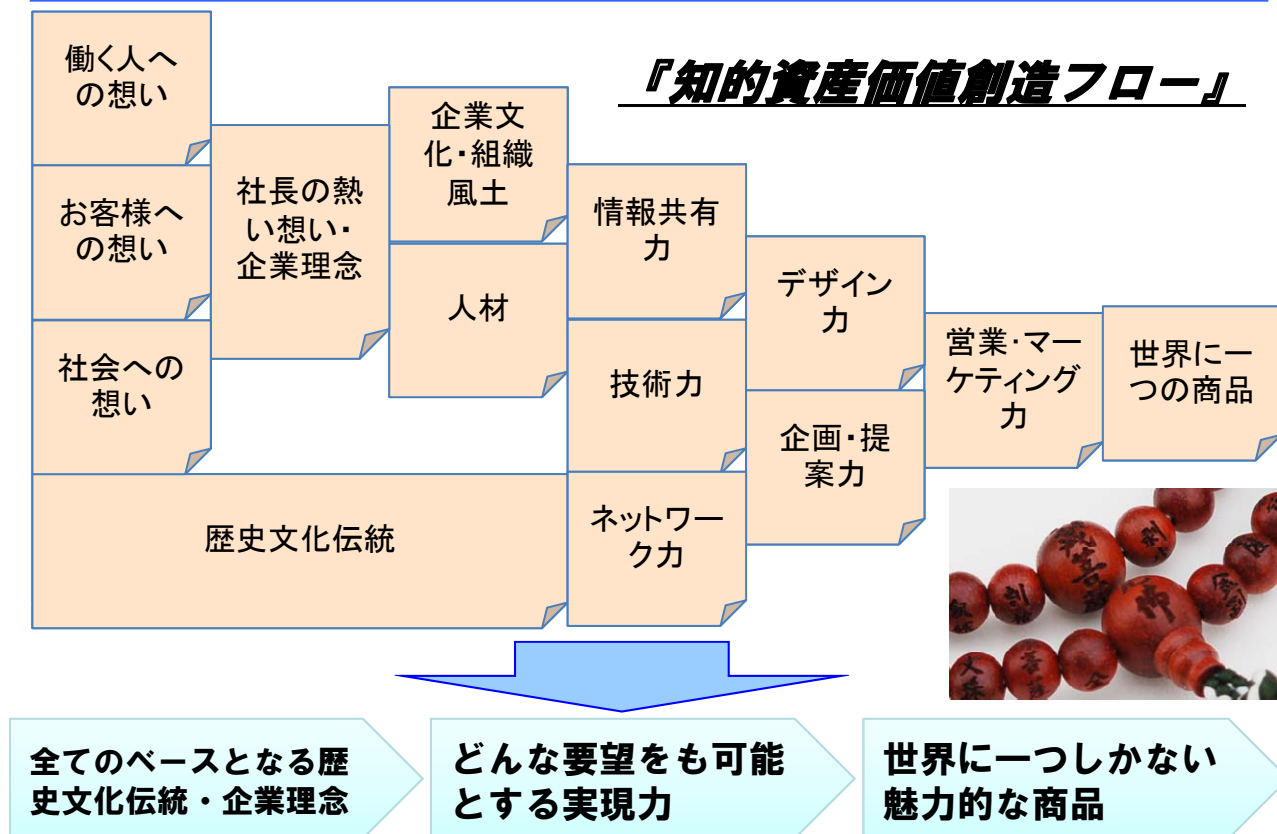


(J-NET21 地域資源活用チャンネルより)

当社の知的資産

～知的資産価値創造フロー～

当社の最大の魅力は、世界に一つしかない商品を提供できることです。すなわち、1400年にわたる数珠作りの歴史・伝統・技を受け継いできた本物の木地師であり、数珠職人だからこそ生み出すことができる本物の木の良さを伝える商品です。大自然が生み出し、人が本能的に惹かれ癒される木。その木の魅力を最大限に生かした木珠に是非、触れてみてください。その価値を創り出す知的資産を以降で見えていきます。



① 全てのベースとなる歴史文化伝統・企業理念

『1400年もの月日が蓄積した歴史文化伝統』と『社員・お客様・社会へ貢献する3方よしの企業理念』の2つが全てのベースとなり、どんな要望をも可能とする実現力や世界に一つしかない魅力的な商品を生み出しています。

② どんな要望をも可能とする実現力

繊細さが求められる高い技術力や珍しい素材の仕入、お客様との接点となる営業・マーケティングなどお客様の要望を実現できる体制を構築しています。

③ 世界に一つしかない魅力的な商品

当社の知的資産が集約され、高品質の“本物の木の良さ”を伝える世界にひとつしかない魅力的な商品をお客様に提供しています。

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

当社の知的資産 ～全てのベースとなる企業理念・歴史文化伝統～

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

歴史伝統文化

近江八幡を代表する伝統工芸の一つに木珠があります。その歴史は古く、今から約1400年前にもさかのぼります。

（P8に詳細）その歴史伝統文化を引き継ぎ、株式会社カワサキは創業昭和3年の創業80年を越える老舗メーカーとして、宗教法具の木珠を長年つくり続けています。

KPI（知的資産指標）

- ・ 創業80年以上
- ・ 1400年以上の伝統産業

熱い想い・企業理念

お客様に本物の木の良さに触れてもらうことや社員の自立、地域社会への貢献などの3方よしの想いが、「快適で人間性あふれる社会の創造に貢献します。」の企業理念（P4に詳細）につながり、自立心の高い人材や風通しの良い組織風土を生み出しています。

企業文化・組織風土・情報共有

人が心豊かに日々幸せに暮らすためには、なにが必要でしょうか？それは“お互いを思いやる優しい心”があれば充分だと思います。当社では、互いに言葉を掛け合いコミュニケーションがはかれる関係が築けています。コミュニケーションをはかるため、毎日ミーティング・部門別ミーティングが実施されています。仕事の内容だけでなく、互いのプライベート・日々の活動なども話しあっています。継続的な関係が何か問題がおきれば報告し合うことや関係者が事前の対応をはかるための話し合いの場が適宜行われるような風通しの良い組織風土につながっています。また、隔週でマネージャー会議を実施し、優先度の高い課題を決め解決のための議論を行っています。こうして情報共有の徹底が図れてい

まづ。I（知的資産指標）

- ・ 毎日実施されるミーティング
- ・ 問題課題解決の話し合いを適宜開催

地域社会への取り組み

毎年、地域の子供たちに、数珠づくりの話しをし、ワークショップを開催しています。小中学校から子供たちを招き、労働体験で働く事の意義を感じてもらっています。この取り組みを通して、人が互いに助け合いながら幸せに暮らすことの意義を感じてもらい、また人々が自己表現をしていくことにより「人と人とが戦う・競争する社会」から「人と人とが支えあい、和する社会」の創造を目指す一助としています。

当社の知的資産

～どんな要望をも可能とする実現力①～

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

ネットワーク力

当社では、世界中から高品質木材を安定的に仕入れることができる幅広いネットワークを有しています。取引年数も長く信頼関係が築けています。

また、地域に根付いた取り組みを実施し、地域コミュニティ形成に寄与しており、様々な地域機関とのネットワークがあります。

当社では、仕入れた銘木の一本一本を大切に取り扱いしています。具体的には原木から仕入れ、当社の技術力を活かし、サイズに関わらない加工を実現しています。そうすることで、タイムリーな仕入やほぼ0%の廃棄率を可能にしています。

世界に一つの商品へのこだわり

材料

技術

サービス

【当社の木へのこだわり】

当社では世界中の森から集まった銘木の一本一本を大切に扱っています。数百年から千年という永い歳月を経て、大自然の中で育まれた世界中の銘木。当社はそんな中から自社のものづくりに最も適した選りすぐりの希少な銘木のみを集めてきました。天然木の持つ美しい木目となめらかなはだざわり。素朴なぬくもりやさしさは、やはり木ならではの質感です。

【世界中から集まる銘木】



【アイアン・ウッド】

名前からもわかるように鉄分を含んだ縞目のきれいな材である。床柱や仏壇などに用いられています。



KPI（知的資産指標）

- ・長年の取引がある仕入先
- ・取り扱い木の種類 30種類以上

【主要仕入先】

北三株式会社（取引年数40年以上）
株式会社ダイキン（取引年数40年以上）
三星製薬株式会社（取引年数40年以上）等

当社の知的資産

～どんな要望をも可能とする実現力②～

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

技術力

当社では製品の製造に関わる機械設備・装置を設計から開発・製造まで一貫して自社内で行っています。すなわち、コアとなる技術は全て当社のオリジナルで行っています。

日々、新たな改良・改善に取り組み、最新の技術で品質を管理しています。「良い製品をつくる為には、道具にも徹底的にこだわる」このオールインワン・テクノロジーが、最高の製品を生み出します。

先人たちがそうであったように、ひとつひとつの工程を大切にし、丁寧に仕上げることにより製品に魂を吹き込み、銘木のもつ輝きを最大限に引き出します。

この技術力を最大限に発揮し、オリジナルオーダーを可能としていることや特許登録（光の彫刻）や経営革新認定（仏包珠）されるような付加価値の高い製品を生み出しています。

KPI（知的資産指標）

- ・製造に関わる機械設備は全て自社開発
- ・オリジナルオーダーが12種類可能
- ・特許1件（光の彫刻）経営革新認定（仏包珠）

世界に一つの商品へのこだわり

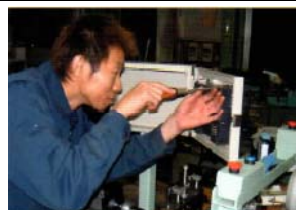
材料

技術

サービス

【オリジナルオーダーを可能とする技術】

オリジナル仕様項目	具 体 的 内 容
a 樹 種	黒檀、紫檀、鉄刀木（たがやさん）、黄楊、柃木、白檀、樟、パープル、リグナムバイタ、アイアンウッド、その他10種程度
b 持込み材加工	自分の思い出のこもった樹の持ち込み依頼にも対応
c 塗装、色調節	青、赤、黄色の組合せで自在に対応する。色見本として30種準備
d 素材色の組合せ	同上の色調の着色、グラデーション加工
e 形 状	丸、なつめ、たいこ、そろばん玉、平玉、しずく玉、コイン玉、マーブル、みかん玉、など
f 寸 法	径3mm～30mmの任意の寸法、更に小径を開発する
g 磨き方	通常、手磨き、超磨き、（見本提示）
h 仕上げ加工	つやあり、つやなし、イボタ仕上げ、漆、きなり、つや消し、自然塗料、蒔絵
i 彫 刻	レーザー加工で多様な要求に対処可能、隠し彫りも可能
j 香 り	指定された好みの臭いを炭珠に浸透させ、木珠と組み合わせる
k 特殊加工	レンズを嵌め込み指定された画像を封入、
l 異素材組合せ	金、銀、貴石、ガラス珠、ビーズ、組紐、革など



当社の知的資産

～どんな要望をも可能とする実現力③～

企画提案力・マーケティング力

世界に一つの商品へのこだわり

材料

技術

サービス

当社では、2006年からネット販売を開始するなどお客様への接点を増やし、企画提案できる体制を強化しています。お客様への迅速な対応を心がけ、お客様の要望を引き出すことや要望に対しての提案などを行っています。それにより、問い合わせの増加や喜びの声が直接届くことにつながっています。

KPI（知的資産指標）

- ・ 問い合わせへの迅速なメール対応（次の日には確実に返信）
- ・ 注文確定後から納品までの迅速な対応（基本は一週間以内）
- ・ 多数のマスコミ掲載・TV取材

【主な取材内容】

- 2006 5月2日発売 小学館ダイム掲載
 - 2006 朝日放送取材 5月31日放送
「評判!なかむら屋」
 - 2006 びわ湖放送取材 8月
 - 2006 NHK取材 9月放送 おうみ発610
近江数珠・2011ラッシュ!?
 - 2009 NHK取材 10月放送 おはよう関西
- その他に朝日新聞や滋賀報知新聞など多数

また、当社は、高級木珠では『半兵衛』、アクセサリーでは、高級感溢れる『美樹』とカジュアルで小粋な『Wood beads』をオリジナルブランドとして展開しています。そして、当社のこだわりや商品の魅力を伝えるために、継続的な展示会への出展や多くのTV・雑誌に取り上げられるなど広報活動にも積極的に取り組んでいます。

企画提案やマーケティング面については、取り組み始めたばかりで、まだまだ改善すべき点もありますが、待ちの営業から脱却を図り、より魅力的な商品づくりを行えるような体制の整備に取り組んでいます。



株式会社カワサキは2006年1月より楽天市場に出店しています。

【楽天市場】ウッドビーズ・カワサキ <http://www.rakuten.co.jp/kawasaki/>

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

当社の知的資産

～世界に一つしかない魅力的な商品～

商品・サービス

世界に一つの商品へのこだわり

材料

技術

サービス

当社の知的資産が集約されることで、世界に一つしかないこだわりの商品が創られます。原材料は世界中の森から集めた希少で高価なレアウッドで、これらの銘木を、熟練した技術の従業員たちの手で、ひとつひとつ丁寧に仕上げられ、お客様の要望に合わせた最高の商品をお届けいたします。

大自然が生み出し、人が本能的に惹かれ癒される木。その木の魅力を最大限に生かした商品の数々。歴史の重みと現代的なセンスの調和に心を配り、素材は黒壇やつげの木などの高級木材を使用しています。商品のひとつひとつから木のもつ素朴な温かみが伝わり、いつまでも飽きのこない、使い込めば使い込む程に良さがわかってくる逸品です。

【オリジナルブランドの紹介】



近江念珠匠
木地師 半兵衛



『半兵衛』の由来

半兵衛という名は、創業家川崎の先祖が江戸中期より名乗っていた名前です。約1400年前より連綿と途絶えることなく、ここ近江八幡の地で続いている“木珠づくり”の歴史とご先祖さまの努力により自分たちが存在する。そのことに強く思いを重ね、今一度“半兵衛”の名のもとに、次代に木珠づくりの“技と心”を継承せんがための象徴です。

『美樹 (Bizyu)』とは？

美樹は木の美しさを追求し、最大限に引き出した究極で雅な高級木珠アクセサリです。身につけているだけで幸せで、満たされて、とっておきの時間が過ごせる。そんな“心”を感じる逸品です。



『Wood beads』とは？

Wood beadsは高級木珠アクセサリの中でもピンク、グリーン、パープル等のレアウッドな木珠と異素材との組み合わせによりカジュアルな風合いに仕上がった「小粋」なブランドです。

Woodbeads
Kawasaki co.

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

● 現在から将来 ～将来ビジョン～

将来ビジョン

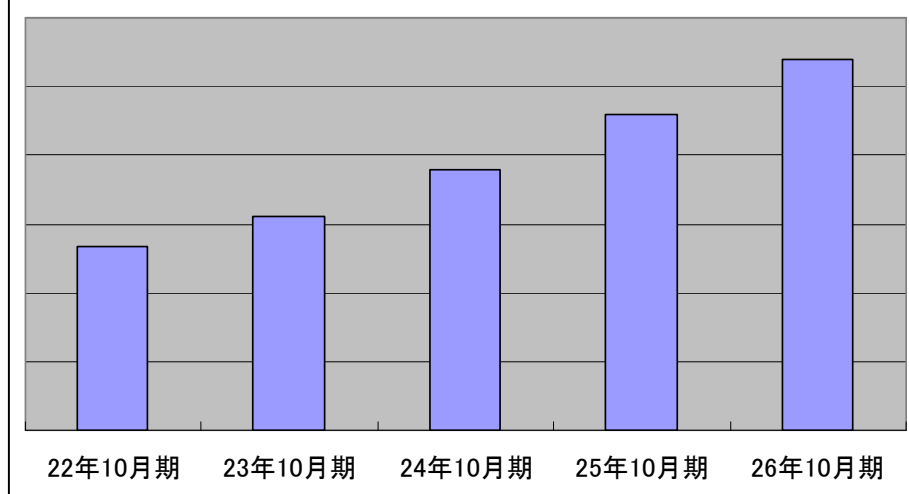
自社ブランドで自社製品を販売する
会社になります。

そのために、独自性・付加価値の高いウッド
ビーズアクセサリーの事業に注力します。

【事業計画】

ウッドビーズアクセサリーの事業に関する売上計画は5年後の26年10月期に22年10月期の倍額の100%増を目標にしています。5年後の売上高対営業利益については20%を目標にしています。

売上高目標の推移



● 現在から将来 ～将来の方向性～

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

将来の方向性

1) 企業・従業員それぞれが責任を持ち自立すること

「自らが考え判断をし、行動をすることができるメンバー組織」へと変化

会社は社員一人一人の生活を守るために永遠に存在し続けなければなりません。そのためには、当社の企業（経営）の理念に則って利益をあげ続けなければなりません。当社のスタッフは、このことを受けて個人としてチームとして、そして会社として、PDCAサイクルを回すことが必要になります。その意識を持ち徹底した活動ができる、より有能な人材に成長することが何よりも求められます。

そのためにも、社員教育及び指導に全身全霊を傾けます。ここ3-5年で生産技術・営業・企画などの直接経営に関わらない実務部門において、社員が完全に自立することを目指します。「トップダウンでのみ作業をする集団」から「自らが考え判断をし、行動をすることができるメンバー組織」へと変化させていきます。優秀な人材が集まり、知恵を出し合い行動すれば、必ず結果につながることを確信しています。

2) 他社の追従を許さない技術の粋を集めた木珠メーカーの確立を図り、数珠づくりにつなげること

まず、オンリーワン商品・技術の開発に力を注ぎ、受身の形から、能動的に取引ができる強いメーカーとなります。このことにより、取引条件や立場は大きく入れ替わります。それを実現するために地域資源活用プログラムの認定を受けた高付加価値が提供できるウッドビーズアクセサリーの事業の展開を図っていきます。

今までの商売の形ではうまくいかないことは、強く認識しており、待ちの商売（TEL, FAX）ではなく、常に攻め続けることが必要となります。自らが企画立案し製作した商品を自らの知恵で販売していくことが必要です。

そして、お客様との関係を構築し信頼されることで、木珠メーカーの地位確立を目指し、5-10年後には、単なる名もなき、地方の下請けメーカーから、自社ブランドで自社製品を販売する会社に変化させていきます。

現在から将来 ～アクションプラン～

社長から
皆様へ

企業理念

企業概要

事業概要

過去から現在

当社の
知的資産

現在から将来

問い合わせ先

『ウッドビーズアクセサリ事業におけるアクションプラン』

顧客ニーズに基づいて「オリジナル木珠アクセサリ」の開発に取り組み、かつ、デザイナーの支援を得て改良品の開発を行い、自社ブランドとして確立し、当社の収益の柱とすることを目指し、以下の取り組みを実行していきます。

1) 商品と設備開発

- ①立つ挽き玉（立つ挽きは木目を綺麗に見せるためで、在来のは横挽きは数珠の製法は強度を上げるため）の工法の研究開発
- ②試作用の自動機の開発（大小多様なサイズと形の組合せを可能にする設備開発）
- ③レーザー彫刻機の最新ソフトの導入とジグの開発。文字フォントや画像の取り込み方法、球面に彫ったときに出るデータの歪みの修正方法を研究
- ④技術開発の検討。材種、形状、大きさに応じた刃物の開発、研磨機の開発、手加工に依存していた精密研磨を機械化する研究開発、塗装技術の開発・機械化
- ⑤新しい素材の導入、工法の開発（カーボン、柔らかい樹種 など）

2) 販路開拓

- ①宝飾品店、セレクトショップ、高級雑貨店などにパーツ及び完成品の販路開拓
- ②インターネットでのPR、eショップ販売のための内容検討、業者選択
- ③ビジネスマッチング（東京、大阪など）に参加

3) 事業PR

- ①高島屋などに出席、PRを通じて商品開発の研究
- ②ネットショップ用のホームページ作成
- ③カタログ、会社案内によるPR活動



4) アフターサービス体制

- ①納品後の顧客要求に関する情報収集のために定期的にアンケートを実施し改善
- ②修理要請に対しては、迅速対応・充実サービスを図り、お客様から喜ばれている内容を継続実施

問い合わせ先

作成支援・監修専門家

本知的資産経営報告書の作成にあたっては、本書記載内容につき、その客観性を維持・向上させる趣旨から、次に掲げる専門家のご支援・ご監修を賜りました。

地域力連携拠点 滋賀県中小企業団体中央会 登録専門家 中小企業診断士 加藤秀勲 氏

<作成支援・監修専門家からの一言>

川崎社長の地域、伝統、そして木へのこだわり、社員に自立して欲しいとの愛情溢れる熱い想いが印象的でした。社員も参加する知的資産経営の会議では、互いの考え、意見がぶつかり合うような白熱した議論が展開されました。そこには、参加者全員の株式会社カワサキを少しでもよくしたいとの想いが表れており、この報告書作成の取り組みが、株式会社カワサキにとって、新たなステージの一步になることを確信しております。

知的資産とは

「知的資産」とは、従来のバランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。よって、「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、すなわち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形で分かりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠して作成しております。

本書ご利用上の注意

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画並びに附帯する事業見込みなどは、すべて現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて記載しております。

そのため、将来に亘り当社を取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要を生じることもあり、その際には、本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するモノではないことを、十分にご了承願います。

お問い合わせ先

株式会社カワサキ

住所 〒523-0894滋賀県近江八幡市中村町690番地

TEL 0748 (33) 5101 FAX 0748 (33) 5103

URL <http://www.kawasaki-beads.com> MAIL kawa108@silver.ocn.ne.jp



素材

選りすぐりの希少な木が
さりげなく伝える自然の美しさ。
心に響くものづくり。



世界中の森から銘木を集めてきました

数百年から千年という長い歳月を経て、大自然の中で育まれた世界中の銘木。カワサキはそんな中から自社のものづくりに最も適した選りすぐりの希少な銘木のみを集めてきました。

天然木の持つ美しい木目となめらかなはだざわり。素朴なぬくもりやさしさは、やはり木ならではの質感です。

カワサキは先人達がそうであったように、ひとつひとつの工程を大切に、丁寧に仕上げることにより、製品に魂を吹き込み、お客様に永く愛されるものづくりに徹してまいります。